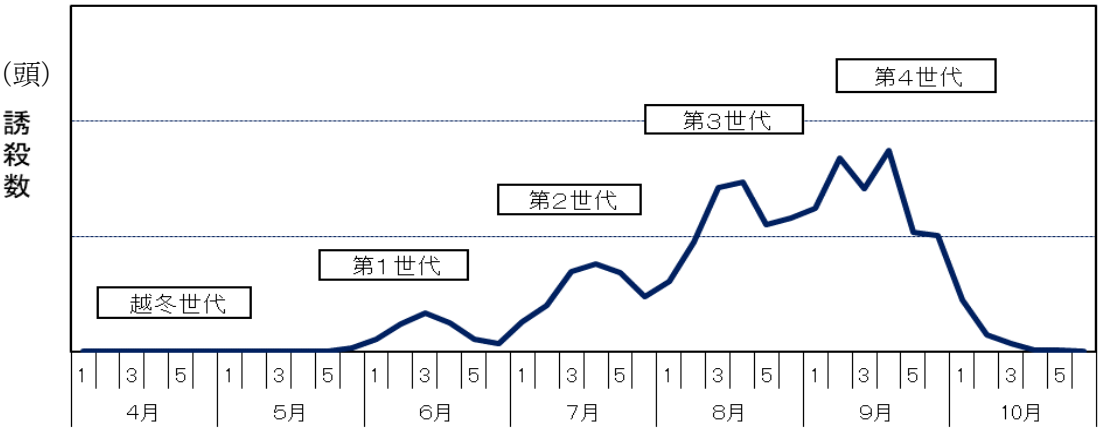


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長〔令和8年(2026年)調査〕

病虫害防除部

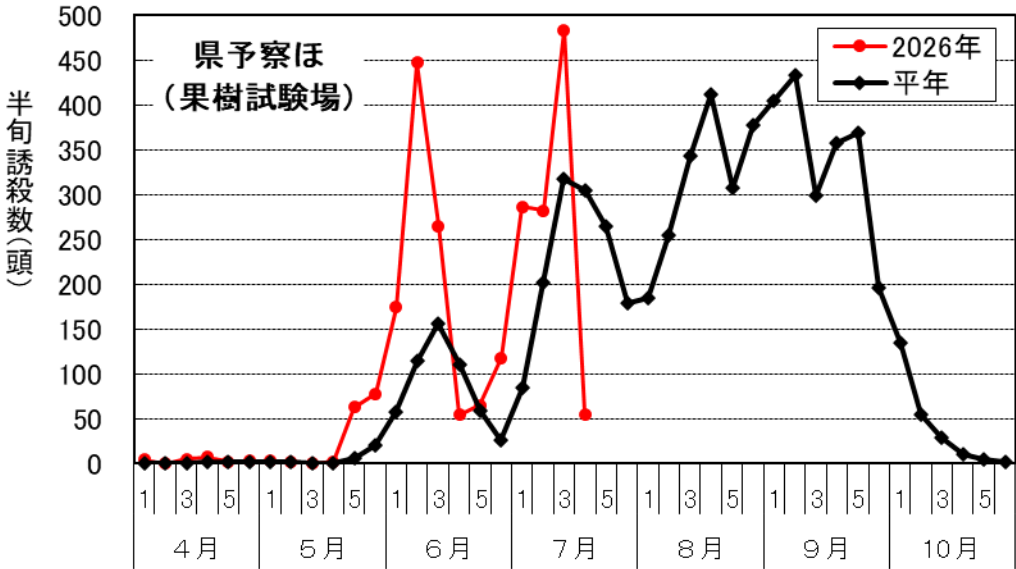
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市・果樹試験場）



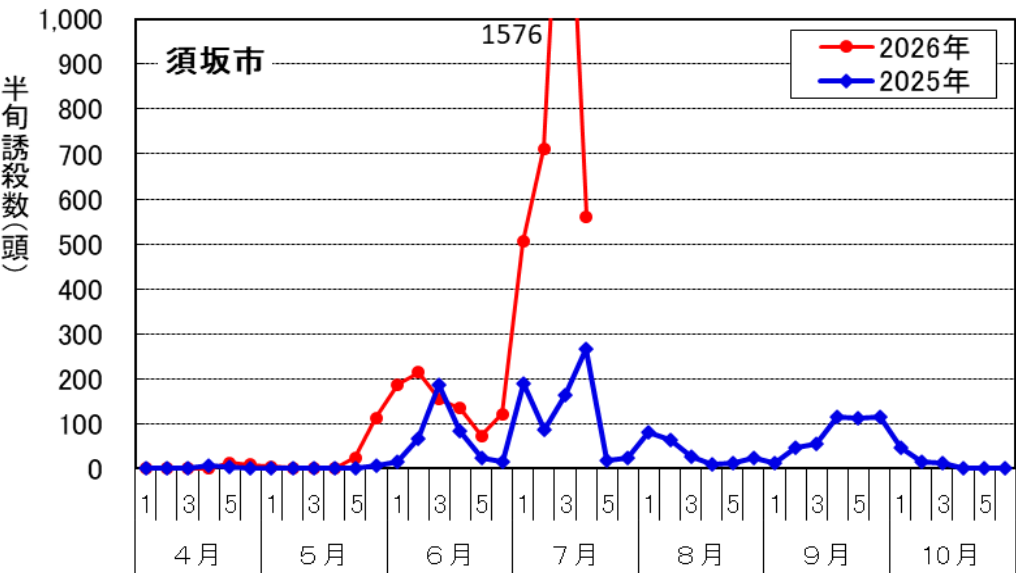
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市（果樹試験場りんごほ場）
- ・平年は 2016 年～2025 年の平均値

【コメント】

- ・第1世代成虫の誘殺が平年よりかなり多い頭数で終了したのち、6月第6半旬より再び第2世代成虫と考えられる誘殺が始まった。平年より1半旬ほど早く誘殺が始まった。
- ・第2世代のピークが7月第3半旬に見られた後、急速に減少して第2世代は終息に向かっている。

○須坂市（病虫害防除部）



【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（りんごほ場）
- ・2023 年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・6月の第1世代成虫の誘殺は、平年より2半旬ほど早く始まった。誘殺頭数はほぼ昨年並であった。
- ・第2世代成虫とみられる誘殺が7月に入ってからすぐに始まり、第1半旬の誘殺頭数は昨年よりかなり多くなった。
- ・第4半旬の誘殺数は第3半旬の半分以下となり、こちらも第2世代は終息に向かっていると思われる。

○発生予察ほ（中野市・病虫害防除部）



【調査地点】（標高約 360m）

- ・中野市（りんご発生予察ほ場）
- ・2026 年から設置のため、平年値および前年値なし

【コメント】

- ・5月第5半旬の小ピークから減少したあと、一時的に6月第1半旬に若干戻したが、そのご再び減少し、第1世代と言える6月のピークはほぼなかった。
- ・7月に入って、第2世代と思われる急激な増加が見られている。
- ・本地点も第3半旬にここまでの最大値を記録し、第4半旬には減少に転じている。